

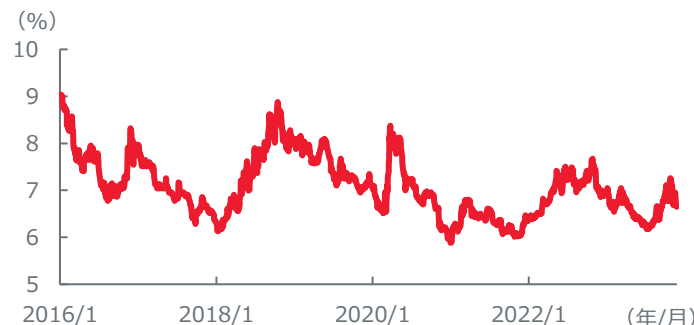
(対象期間：2023/11/20～2023/11/24)

【株式市場】 ジャカルタ総合指数の推移
(2016年1月4日～2023年11月24日)

【株式市場】

20日は薄商いの中、株式市場は小幅上昇しました。21日は23年7-9月期のインドネシアの経常収支の赤字幅が縮小したものの化学株の下落などから軟調な展開となりました。22日は23年7-9月期決算が予想を下回った素材株中心に売られ下落しました。23日は海外から出資を受けるとの報道からeコマース関連株が大幅高となったことなどを受け上昇しました。24日は前日にインドネシア中央銀行（BI）が政策金利を据え置いたことなどを受け、銀行株などが上昇しました。インドネシアの株式市場は前週末比で上昇しました。

| 2023/11/17 | 2023/11/24 | 変化率 |
|------------|------------|--------|
| 6,977.67 | 7,009.63 | +0.46% |

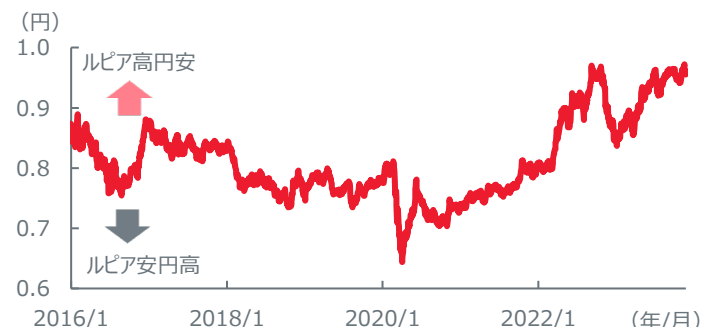
【債券市場】 インドネシア自国通貨建て10年国債利回りの推移
(2016年1月1日～2023年11月24日)

【債券市場】

20日は材料難の中、インドネシア国債利回りは低下（価格は上昇）しました。21日、国債利回りは小幅低下し、22日は米ドル高傾向からアジア新興国通貨・株式を中心に投資家のリスク回避姿勢が強まり、国債利回りは上昇しました。23日はBIが政策金利を据え置いたことで、国債利回りは低下しました。24日は米国債金利上昇を受けて国債利回りは上昇しました。前週末比で10年国債利回りは低下しました。

| 2023/11/15* | 2023/11/24 | 変化幅 |
|-------------|------------|--------|
| 6.952 | 6.660 | -0.292 |

*16、17日は参照データにおいて売買が成立しなかったため価格および利回りの算出がなく、15日のデータと比較しております。

【為替市場】 インドネシアルピアの対円レートの推移
(2016年1月1日～2023年11月24日)

【為替市場】

アジア時間21日夜に発表された11月の米連邦公開市場委員会（FOMC）の議事録にて、インフレの改善が不十分であれば追加引き締めが適切になる、との見解が示されたことを受けて米長期金利、米ドルが上昇し、22日にはルピアを含む多くのアジア通貨が対米ドルで下落しました。23日、BIは市場予想通り政策金利の据え置きを発表する一方、ルピアとインフレに対するリスクを警戒する姿勢を示しました。ルピアは前週末比で対米ドル対円ともに下落しました。

| 2023/11/17 | 2023/11/24 | 変化率 |
|------------|------------|--------|
| 0.9635 | 0.9609 | -0.27% |

100インドネシアルピアの対円レート

出所：グラフおよび表はBloomberg L.P.のデータに基づきイーストスプリング・インベストメンツ作成。

<当資料に関してご留意いただきたい事項> ※当資料は、イーストスプリング・インベストメンツ株式会社が、情報提供を目的として作成した資料であり、金融商品取引法に基づく開示資料ではありません。また、特定の金融商品の勧誘・販売等を目的とした販売用資料ではありません。※当資料は、信頼できると判断された情報等をもとに作成していますが、必ずしもその正確性、完全性を保証するものではありません。※当資料の内容は作成日時点のものであり、当社の見解および予想に基づく将来の見通しが含まれることがありますが、将来予告なく変更されることがあります。また、将来の市場環境の変動等を保証するものではありません。※当資料で使用しているグラフ、パフォーマンス等は参考データをご提供する目的で作成したものです。数値等の内容は過去の実績や将来の予測を示したものであり、将来の運用成果を保証するものではありません。※当資料では、個別企業に言及することがありますが、当該企業の株式について組入の保証や売買の推奨をするものではありません。※当社による事前の書面による同意無く、当資料の全部またはその一部を複製・転用並びに配布することはご遠慮ください。

イーストスプリング・インベストメンツ株式会社

金融商品取引業者 関東財務局長（金商）第379号／加入協会 一般社団法人投資信託協会、一般社団法人日本投資顧問業協会

英国ブルーデンシャル社は、イーストスプリング・インベストメンツ株式会社の最終親会社です。最終親会社およびそのグループ会社は主に米国で事業を展開しているブルーデンシャル・ファイナンシャル社、および英国のM&G社の子会社であるブルーデンシャル・アシュアランス社とは関係がありません。